

<h1 style="font-size: 48px; margin: 0;">ビデオ 通信</h1>	<p>2013年 10月3日(木) No.3720</p>	<p>月・木曜日発行 1ヶ月¥11,000(税別) 発行：飯澤剛 編集：齋藤浩一</p>
		<p><b>ユニ通信社</b> 〒106-0047 東京都港区南麻布5-2-37 DEPECHE MODE 1F TEL：03-5422-7515 FAX：03-5422-7516 E-mail：vt@uni-press.net</p>

WINK2

## ワンストップデジタルシネマサービスを強化 Pablo Rio / DaVinci Resolve / DCP クリエイションラボなど MA スタジオの新設や PMW-F55 の導入も

銀座スタジオ／道玄坂スタジオ／西口スタジオ（神山町）／代々木公園スタジオの都内4拠点  
でCM・PV・番組・映画等に対応したポストプロダクションを展開する㈱ウインクトゥー（Wink2）が、  
「ワンストップデジタルシネマサービス」の強化やMAスタジオ等の新設など、業務を拡張している。

「ワンストップデジタルシネマサービス」は、ノンリニアベースでの編集～グレーディング～音  
楽録音／フォーリー～ダビング～DCP出力までワンストップで対応するもので、その一貫として  
西口スタジオでは Quantel の Pablo Rio を導入した「4K 対応 Pablo ルーム」（写真→）、  
代々木公園スタジオでは Blackmagic Design の DaVinci Rsolve を導入した「Resolve 4K  
対応カラーグレーディングルーム」および DCP 製作をサポートする「4K DCP クリエ  
イションラボ」を新設した。また、ソニーの CineAlta 4K カメラ「PMW-F55」を導入し、  
機材貸出サービスの開始とともに撮影技術のノウハウ構築に着手した。



さらに、番組編集拠点としても展開する西口スタジオにおいては、3室目となるMAルーム、  
7室目のPD編集室をオープンした。

### 4K 対応 Pablo ルームを西口スタジオにオープン

「4K 対応 Pablo ルーム」（ONLINE-7）は、渋谷 NHK 放送センター西口至近にある西口スタ  
ジオ1階に今春オープン。同社では Pablo Rio について「カラーとフィニッシングのためのツール  
セットが全て搭載されており、オールインワンで編集～タイトル～コンポジット～再編集、納品  
物作成といったあらゆる作業が行える。フレームレートや4K、さらに4K以上のファイルベース  
作業といった、今日のデジタルキャプチャーの世界において、ファイルベースワークフローを提供  
できる。さらに完璧なカラーとフィニッシングの作業環境で、高フレームレート、ステレオ3D、  
OpenEXR、RED HDRx、ARRI、Canon、SonyF65、Phantom、SiliconImage、XAVC、GoProと

いった、広範囲にわたるデータフォーマットのメディアを使用した作業が可能であり、これら全てを容易に扱える」としている。

同一拠点にある Autodesk Smoke (Mac) / Final Cut Pro (FCP) 導入のノンリニア編集室「ONLINE3～6」の4室、主にCM対応拠点として展開している銀座スタジオの Autodesk Flame Premium 編集室「Studio-1～2」との連携も可能となっている。



4K対応 Pablo ルームの全景

#### 代々木公園スタジオでは Resolve 導入や DCP ラボオープン

また、西口スタジオから徒歩圏内にある2011年6月オープンの代々木公園スタジオでは、ワンストップデジタルシネマサービス強化の一環として「4K対応 Resolve カラーグレーディングルーム」「4K DCP クリエイションラボ」をオープンした。代々木公園スタジオは、国内最大規模の映画用ダビングスタジオ「Stage1 Cinema」、音楽録音スタジオ「Stage2 Music」を有している。

DaVinci Resolve はユーザーから要望が多かったカラーグレーディングルームの運用を目的に導入。〈映画・テレビ・CM/VP といった編集の最終作業におけるカラーへの役割依存がますます増えてきている。コンパクトなデジタルカメラを使用した機動性を生かした撮影や、大型 CCD によるダイナミックレンジを生かした映像に、本来映像の持つ色効果を修正・付加したフィニッシングが可能になる〉(同社)としている。

DCP クリエイションラボでは、DCP クリエイションシステムに DVS「CLIPSTER」を採用。コンフォームからフィニッシング、素材の取り込み編集から DCP 製作に対応する。

#### 4K 対応のデジタルシネマのポストプロワークをワンストップで

Wink2 ではこれらスタジオ強化により、4K を含むデジタルシネマ制作のポストプロダクションワークについて、素材コンフォームから編集、グレーディング、音楽録音およびフォーリー、ダビング、DCP 出力までの全工程についてワンストップで対応する体制を整えた。

さらに、4K カメラ「PMW-F55」導入で、機材貸出サービスの開始とともに撮影技術についても体制を強化していく計画だ。



代々木公園スタジオ  
「Stage1 Cinema」

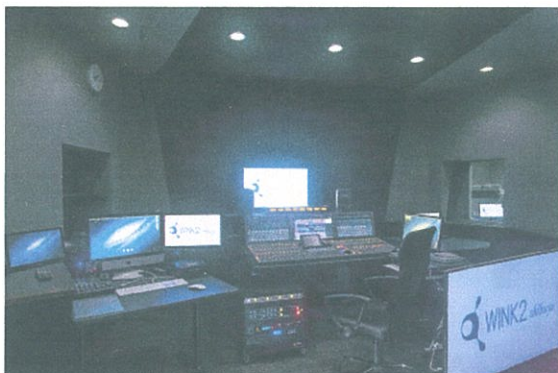


代々木公園スタジオ  
「Stage2 Music」

同社では〈フィルムカメラが主流だった映画制作業界も、ここ数年デジタル化が進んできており、大判センサーを搭載したレンズ交換が可能なデジタルシネマカメラが主流となりつつある。デジタル撮影は、VFX や CG などの撮影素材の後加工がフィルムより容易であり、

ポストプロダクションを利用することが必然的な流れになっている。Wink2 ではデジタルシネマ制作事業を新たに開始することで、音楽から編集、DCP、既存編集室の活性化も考えられ、撮影後のポストプロ作業がワンストップで行うことで、バジェットの透明化ができると同時に作品クオリティを上げることが可能」としている。

#### 西口スタジオ=新設 MA スタジオ / PD 編集室を増設



さらに、Wink2 では、番組編集拠点としても展開する西口スタジオにおいて、3 室目となる MA ルーム (←写真)、7 室目の PD 編集室をオープンした。

増設した「MA-5」は、Fairlight の CC-1 ベース「Evolution」ミキシングシステムを導入。5.1ch サラウンドオーディオに対応するとともに、ファイルベースワークフローを構築している。各種ノンリニアビデオ / オーディオファイルをダイレクトに読み込み、ファイルベースによる音声編集作業が可能で、多数のプラグイン実装で多様なメディアへダイレクトにアクセスできる。ビデオトラックには CC-1 エンジン内蔵のビデオトラックに加え、Pyxis HD システムを採用して、全工程をノンリニアでストレス無く作業できる。

FCP 導入の PD 編集室は、マシンルーム (写真→) 内の Xsan サーバーにデジタル化された素材をファイバーチャンネルでダイレクトにアクセスし、ストレスフリーの編集作業が行える。



同社ではさらに、番組拠点として道玄坂スタジオを有している。FCP/Prunus 導入の PD 編集室×14 室、オンライン編集室としてリニア 1 室 / ノンリニア 1 室、MA ルーム×2 室を装備して、テーブルワークフローをいち早く採り入れている。

◇(株)ウインクツー <http://www.wink-2.com/>

ウインクツーは 2012 年、短編映画『keynote』(監督:阿尾茂毅)、長編アニメーション映画『あらしのよるに』(原作:きむらゆういち/監督:杉井ギサブロー)に技術協力を行った。西口スタジオではノンリニア編集、代々木スタジオではアフレコ / ダビング / グレーディング / DCP ラボ作業をワンストップで行っている。写真は短編映画『keynote』の撮影風景

